

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DE504／若者とメディア (Children, Youths and Media)		
担当者名 (Instructor)	宇野 常寛(UNO TSUNEHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3210	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	社会学部生用 他学部生は抽選登録にて申し込むこと		

授業の目標(Course Objectives)

若者論/メディア論/文化論を横断し、現代社会と文化の全体像を掴む

To understand what is happening in the world and how our culture is changing through thinking about the activity of young generation and media.

授業の内容(Course Contents)

情報化以降、あるいは戦後中流文化の解体以降の文化状況の批評を行う

Reviewing how the middle class culture has been changing after WWW.

授業計画(Course Schedule)

1. 1. はじめに
 - ・評価方法とこの授業のルール
 - ・宇野の自己紹介
 - ・この授業で扱うこと
 - ・テキストの紹介
2. 2. 「境界のない世界」をめぐって
 - ・2016年の「敗北」——トランプとブレグジット
 - ・政治と経済のパワーバランス
 - ・開く国家と閉ざされる都市
 - ・グローバリゼーションの功罪——「ファクトフルネス」に考える
 - ・「境界のない世界」は「境界のある世界」飲み込めるか
 - ・チームラボの挑戦と三つの境界線
3. 3. 戦争と平和の現在形——メディア論から考える
 - ・「映像の世紀」と世界大戦／冷戦
 - ・テロとインターネット
 - ・テロリズムは日常性を切断し得るか——アニメから戦争を考える
 - ・平和マーケティングの可能性
4. 4. 「昼の世界」から「夜の世界」へ
 - ・日本のインターネットの歴史——imode、2ちゃんねる、ニコ動、そして衰退
 - ・ゲーミフィケーションと「中間のもの」
 - ・日本的想像力と新しい人間性
 - ・消極性研究から考える
5. 5. 戦後中流からマイルドヤンキー／新しいホワイトカラーへ
 - ・東京が「西」へ伸びたころ——戦後中流の時代
 - ・郊外化とマイルドヤンキー／都心回帰とあたらしいホワイトカラー
 - ・ランナーの視点から都市を考える
6. 6. 「動員の革命」はなぜ失敗したか
 - ・平成というテレビポピュリズムの時代
 - ・「アラブの春」と「動員の革命」
 - ・テレビの従属物と化したインターネット
 - ・いま必要なのは「もっと遅いインターネット」だ
7. 7. 映像の世紀とその終わり
 - ・ハリウッドと「映像の世代」——スターウォーズと妖怪ウォッチ
 - ・「笑っていいとも」はなぜ飽きられたのか
 - ・「映像の世紀」から「ネットワークの世紀」へ
8. 8. ディズニーとグーグルのあいだで
 - ・「情報から体験へ」「他人の物語から自分の物語」へ
 - ・音楽市場は三世紀の中国大陆——いま、音楽に何が求められているか

- ・ 20 世紀型ディズニーVS21 世紀型 Google
 - ・ もはや「検索」の時代ではない
 - ・ ジョン・ハンケと「大きなゲーム」
9. ネット社会の衣食住
 - ・ インターネットは「食」をどう変えたかー「食ベログ」と「クックパッド」
 - ・ ノームコアと五体満足主義
 - ・ なぜ若いサラリーマンはアウトドアウェアで出勤するのか
 - ・ 西海岸のギークカルチャーと東京のオタクカルチャー
 - ・ 不動産情報サイトと「空き家大国ニッポン」
 10. メイカーズムーブメントとその日本的展開
 - ・ ソニーはなぜ負けたか
 - ・ 日本的ものづくりの敗北とメイカーズムーブメント
 - ・ DMM.make AKIBA の挑戦 ―Open Share Join
 - ・ ドラえもんはジョブズを超えた？
 - ・ モータリゼーションの 20 世紀から MASS の 21 世紀へ
 11. 地理と文化のシーソーゲーム
 - ・ ストリートが何も生まない時代―情報社会の地理と文化
 - ・ 国家から都市へ―グローバリゼーションの主役は誰か
 - ・ 福岡とグローバル戦略
 - ・ 「地方創世」は可能か―ほんとうに「地方が生き残る」とは
 12. 消費社会から情報社会へ
 - ・ 國分功一郎「暇と退屈の倫理学」
 - ・ 「モノ」から「コト」へ―消費社会から情報社会へ
 - ・ 「ほぼ日」の達成とその弱点
 - ・ キッチンであることの意味
 - ・ 戦後ロボットアニメと男性的身体
 13. 出版の未来
 - ・ 紙の本が終わるとき ―おぢいさんのランプ 2016
 - ・ 幻冬舎と箕輪編集室―「本」の変質
 - ・ 本と Wikipedia の間のもの
 - ・ 日本語の散文はインターネットで変質する？
 14. TOKYO2020 ―オリンピックから考える近未来日本
 - ・ ビジョンなき五輪のその後―2020 年を総括する
 - ・ 多様性のためのオリンピック―近代五輪/スポーツを解体せよ
 - ・ レガシーとしての「東京5分割計画」

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

テキスト、参考文献を熟読しておくことが望ましい

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(100%)

テキスト (Textbooks)

1. 宇野常寛、2020、『遅いインターネット』、幻冬舎 (ISBN:978-4344035768)
2. 宇野常寛 責任編集、2018、『PLANETS vol.10』、PLANETS/第二次惑星開発委員会 (ISBN:978-4905325116)

参考文献 (Readings)

1. 宇野常寛 責任編集、2015、『PLANETS vol.9』、PLANETS/第二次惑星開発委員会 (ISBN:978-4905325062)
2. 宇野常寛 責任編集、2013、『PLANETS vol.8』、PLANETS/第二次惑星開発委員会 (ISBN:978-4905325031)

その他(HP 等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)